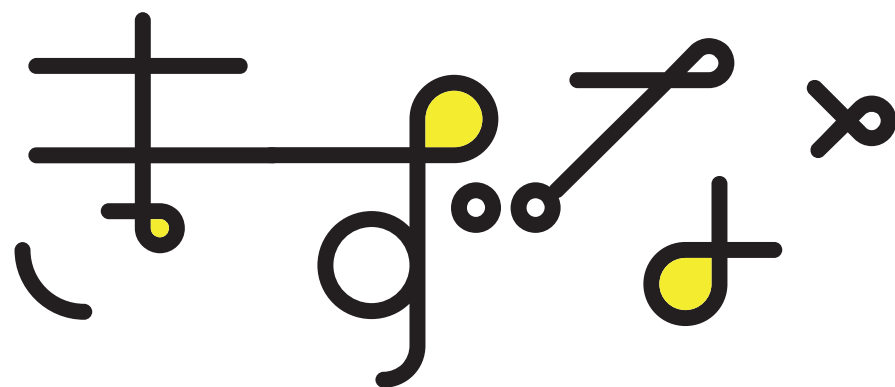


みよし議会だより



第156号

2026年 8月1日

発行／みよし市議会

令和 8 年第 2 回(6月)定例会報告



目次

定例会報告	P 2
議決結果・賛否結果一覧	P 3
常任委員会報告	P 4 ～ P 7
市政を問う(一般質問)	P 8 ～ P 12
議会運営委員会・特別委員会活動報告	P 13 ～ P 14
令和7年度政務活動費報告	P 15
議会報告会・市民との意見交換会報告	P 16

□「三好丘公園」

議会ホームページは
こちらからご覧になれます。



令和
8年

第2回(6月)定例会報告

令和8年第2回定例会は、6月12日(金)から30日(火)までの19日間の会期で開催。条例の一部改正、令和8年度一般会計補正予算など19件が審議されました。主な内容を報告します。(千円以下切捨て)

条例の一部改正

○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項の規定に基づき、新たに個人番号を利用する事務を追加するために必要な改正を行います。

○消防団員等公務災害補償条例の一部改正

国家公務員災害補償法に基づく人事院規則の一部改正により、葬祭補償の額が改定されたことに伴い、非常勤消防団員等の葬祭補償の額を改正するため必要な改正を行います。

○税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、市民税と固定資産税について必要な改正を行います。

○都市計画税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、都市計画税について必要な改正を行います。

一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出に1億1,658万円を追加し、予算総額280億6,956万円とします。

歳入

○母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金

(補助率1/2) 427万円

○財政調整基金繰入金

9,848万円

歳出

○高齢者等移動支援事業

143万円

○放課後児童健全育成事業

996万円

○こども・子育て応援事業

4,285万円

○公害防止事業

250万円

○小学校管理運営事業

489万円

○中学校管理運営事業

137万円

○中学校部活動支援事業

108万円

○中学校施設整備事業

79万円

○カヌー競技推進事業

330万円

同意

固定資産評価審査委員会の委員に、引き続き、中嶋茂氏を選任することに同意しました。(任期：令和8年9月1日から令和11年8月31日までの3年間)

農業委員会の委員に、光岡公利氏、林剛氏、安藤裕氏、久野宗秀氏、天野和彦氏、岡本文子氏、小野田加代子氏、竹内鈴彦氏、伊藤健二氏、萩野敏廣氏、野々山久照氏、塚崎哲哉氏を選任することに同意しました。(任期：令和8年7月20日から令和11年7月19日までの3年間)

諮問

人権擁護委員に、引き続き、加藤みどり氏を法務大臣に対し、推薦することに同意しました。(任期：令和8年10月1日から令和11年9月30日までの3年間)



令和8年第2回定例会 議決結果・賛否結果一覧

議案 番号等	議案名	議決 日	議決 結果	新世紀の会										希望の風		公明党	市民 フォーラム	日本共産党	日本維新の会			
				奥村 祐右	竹谷 明永	鳥羽富士夫	増岡 義弘	塚本 直樹	福安金之助	塚本 克彦	藤川 仁司	小嶋 立夫	寺本 弘子	林 久子	原口百合子	伊地田妙子	阿部 憲明	田中 祐二	渡邊 郁夫	牧田 充生	御国しおん	水谷 正邦
議案 第40号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	6月 30日	原案 可決	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第41号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第42号	市税条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第43号	都市計画税条例の一部改正について	〃	〃	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第44号	令和8年度一般会計補正予算(第2号)	〃	〃	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第5号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	6月 12日	原案 同意	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第6号	農業委員会の委員の選任について	〃		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第7号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第8号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第9号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第10号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第11号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第12号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第13号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第14号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第15号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第16号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 第17号	農業委員会の委員の選任について	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問 第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃	〃	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 賛成以外：× 退席：退 本会議欠席（早退を含む）：欠 議長：議長は議決に加わらない。



常任委員会報告

予算決算委員会報告

委員長：小嶋 立夫

主な審査内容

議案第44号
令和8年度一般会計補正予算(第2号)

【歳出】

通所介護共同送迎サービス効果検証事業

Q 民間事業者で行われる新規事業の損益見込みに関しては、民間事業者が検討すべきことと思うがどうか。

A 介護現場での人材不足は、介護保険制度を維持する上で本市でも課題となっています。共同送迎サービスが実現した場合、市内通所介護事業所の送迎にかかる負担が軽減し、介護職員の負担軽減や介護の専門技術取得時間の確保を図ることができます。この事業を市で実施することは、高齢者福祉計画、介護保険事業計画に掲げる介護人材の確保や育成の取り組みを推進することを目的としていて、今回予算計上しています。



Q 効果検証の調査の結果、健全で安定的な事業運営ができると判断された後のスケジュール案はどのようなか。

A 令和8年度に効果検証を行い、事業としての運営が可能と見込まれた場合には、令和9年度に運営する事業者の体制、参加事業者や利用者の満足度、事業成立の可能性を検証するための実証実験を行う予定です。その結果を踏まえ、課題整理や必要な調整を行った上で、本格運用に向けて、関係者と協議をし、進めたいと考えています。

放課後児童クラブを活用したこどもの居場所確保及び食支援事業

Q 財源内訳の「国庫支出金」と「その他」の内容は。

A 「その他」財源は保護者に納めていただく一食あたり350円の合計額です。国庫支出金は、「母子家庭等対策総合支援事業補助金」で、補助率は事業費（保護者負担分を除く）の2分の1です。

Q 児童館など市内施設の弁当の申し込みと支払いはいつどのような方法で行うのか。

A 申込時期を7月分、8月前半分、8月後半分の3回に分け、それぞれ事業開始日の12、13日前を申込期限とします。申込方法は、スマホなどにて申込フォームの二次元コードを読み、メニュー表を見て利用日と受取場所を決めて申し込みを行います。代金は弁当提供初回の前日までに、クレジットカード、ペイペイもしくはペイジー払いのいずれかを選択して支払ってもらいます。



みよし市学校あんしんモデル事業

Q 学校あんしんチームの中心となる学校あんしんリーダーの具体的業務内容は。

A 業務内容は、学校あんしんチームによる週1回の定期的な学校あんしん会議の主催、事案発生時における臨時的な学校あんしん会議の主催、こども・保護者との面談・相談、包括的性教育の推進、関係機関との連携、研修の実施、不登校児童生徒支援などです。

小学生登下校時酷暑対策事業

Q すべて前開き冷凍庫となっているが、多くの児童が使用する過程でドアの閉め忘れが発生する可能性がある。なぜ、開放されても冷気がもれにくい上面ドアの冷凍庫にしないのか。

A 先進自治体の事業などを参考にそれぞれの段に引き出しボックスがついているタイプの冷凍庫を導入し、ネッククーラーを引き出しボックスでクラスごとに管理する形を想定しています。ネッククーラーを各自で冷凍庫に出し入れするのではなく、登校時に学級ごとのトレーに回収し、下校時にクラスの代表1人が冷凍庫から出し入れする運用を教職員が確認することを検討しています。

みよしクラブ保険料・アプリ使用料

Q アプリの運用方法は。

A スケジュール管理、指導者からの発信連絡で使います。1対1での連絡の交換などにはできない仕様です。休日のみよしクラブの活動は、このアプリでスケジュール管理や連絡などを行います。

中部地方 令和の名水づくり・里海づくり地域支援事業

Q みよし市黒笹町小持松地区がこのモデル事業に採択された経緯と今後のスケジュールは。

A この地区は、自然共生サイトの認定に向けて事務局である独立行政法人環境再生保全機構、環境省中部地方環境事務所などに現地を見てもらいながら課題などを相談してきました。その中で、「中部地方 令和の名水づくり・里海づくり地域支援事業」のモデル事業の公募の情報をもらい、伴走支援を受けながら将来を見据えた保全計画を策定していくべきではと助言をいただいた中で、今回応募しました。令和8年3月下旬に、この事業の採択を受け、4月、5月に環境省と中部地方 令和の名水づくり・里海づくり地域支援事業事務局と現地での打ち合わせをすでに行いました。今後は、10月前後に保全活動の試行および勉強会を予定しています。また、国の主催により、令和8年9月と令和9年2月頃に今回採択された本市以外の他地区と合同での研修会、成果報告などを予定しています。



黒笹町小持松地区

Q 保全計画策定支援業務委託の内容はどのようなか。

A 将来に向けて、10年、20年、さらにもっと先を見据えて、特に森林の部分について、保全していく方向性を位置づけることを考えています。その中で森林部、湿地の植生の状況や土壌の調査などを行い、現状をしっかりと把握して計画策定をしていきます。

Q 今後、保全活動を継続していくための市の負担はどの程度見込んでいますか。

A 令和8年度に策定する本市の保全計画の中で、将来に向けた保全活動の方向性を定めていく予定です。保全活動は、計画策定後、その計画にそって実施していきますので、保全に関する市の負担は、現時点で試算などは行っていません。

Q 保全啓発物の配布先や配布方法はどのようなか。

A 啓発物については、黒笹町小持松地区を知っていただき、理解を得て関わっていただく人を増やすことを目的に、勉強会などにおいて配布を予定しています。

企画総務委員会報告

委員長：林 久子

主な審査内容

議案第40号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用などに関する法律第9条第2項の規定に基づき、新たに個人番号を利用する事務を追加するために必要な改正を行います。

Q 今回、福祉医療事務などにおいて、戸籍関係情報や住民票関係情報、生活保護関係情報など利用できる特定個人情報を追加することだが、これらの情報がこれまでに参照できなかった理由は何か。

A これらの情報連携は、国の制度上は以前より利用できる仕組みがありました。今回、国からの戸籍関係情報の情報連携に関する通知をきっかけに、利用可能な情報を整理して条例に追加し、情報連携を行うことにより、さらに申請者の添付書類の負担軽減や、審査事務の効率化を図っていくものです。

Q 今回の改正によって、市民が窓口へ持参する必要がなくなる書類はどういったものがあるか、また、どのような効果があるのか。

A 今回の改正により、証明書の持参が不要となるものは、戸籍謄本、住民票の写し、保護決定通知書などです。今回の改正により、マイナンバーによる情報連携が可能となり、必要書類をデータで確認できるようになります。市としても、添付書類の確認事務が減少し、審査事務の効率化につながるものと考えています。

議案第41号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正

国家公務員災害補償法に基づく人事院規則の一部改正により、葬祭補償の額を改正するため必要な改正を行います。

Q 今回の15,000円増額について、国はどのような算定根拠に基づき改正したのか。

A 総務省統計局が発表している消費者物価指数を基に見直しを行った結果、15,000円増額する改正となったと確認しています。

委員会活動報告

年度テーマ

令和7年度に引き続き、年度テーマを「データを活用した地域づくり」にすることとしました。

【行政調査計画】 ※7月中にテーマに沿った内容で、3カ所の自治体への行政調査を行います。

◆豊田市：とよたiマップ、オープンデータカタログサイト

地理情報システム (GIS)を用いたオープンデータの充実と展開について

◆さいたま市：さいたま市デジタル意見ひろば事業

情報共有や意見交換を目的にデジタルプラットフォームの運用と効果

◆柏市：柏の葉スマートシティ

スマートシティ構想の運用の実際と今後の展望について



オープンスペースとして活用している調整池
「柏の葉アクアテラス」

©柏市

文教厚生委員会報告

委員長：竹谷 明永

委員会活動報告

年度テーマ

令和7年度に引き続き、年度テーマを「高齢者が元気で楽しく安心して暮らせるまちづくり」にすることとしました。

本市の高齢化率は全国平均と比較をすると、いまだ低い水準にありますが、今後は高齢化が急速に進むこと

が見込まれています。1人暮らしの高齢者や認知症の人、医療と介護の両方を必要とする高齢者も大幅に増加することが見込まれる中で、今後、住み慣れた地域での暮らしを支えていく環境を整えることが重要な課題となります。年度テーマに基づき、先進事例となる北海道千歳市と江別市の行政調査を7月下旬に実施します。

経済建設委員会報告

委員長：田中 祐二

主な審査内容

議案第42号 税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、市民税および固定資産税について必要な改正を行います。

Q 公的年金等受給者に係る今回の改正内容を市民へはどのように周知するか。

A 年金受給者が対象となるため、対象者へは日本年金機構などから周知されます。

Q 再生可能エネルギー発電設備の固定資産税の特例割合が全種類で最小となった理由は何か。

A 本市ではゼロカーボン推進計画や2050年までのゼロカーボンシティ実現を目指し、市が率先して普及拡大に取り組む姿勢を表すため、今回の条例改正で、国が認める範囲内で、課税標準額が最も低くなる特例割合としました。

議案第43号 都市計画税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、都市計画税について必要な改正を行います。

Q バリアフリー改修の固定資産税の減額措置について、本市の減収見込みは。

A 現在のところ、どの建物が減額措置の対象となるか不明であり、予測が難しいためどのくらい税が減収するか見込むことができない状況です。

委員会活動報告

年度テーマ

令和8年度も昨年度に引き続き、「循環型社会の構築」をテーマに活動していきます。特に、本市の課題である「再利用資源回収率」については、令和10年度の目標値(23.8%)の達成に向けた政策提言を目指すとともに、4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)の推進や市民一人一人の環境意識の向上につながる施策について、楽しみながら取り組める視点も大切にしながら、調査研究を進めていきます。



令和8年度第1回経済建設委員会協議会

現地調査

令和8年度6月補正予算に計上された、「中部地方 令和の名水づくり・里海づくり地域支援事業」について現地を訪問し、黒笹町小持松地内の境川源流域の谷戸地区の事業概要を確認しました。当地区は環境省中部地方環境事務所のモデル事業に採択されていて、今後、現地調査や分析を行いながら保全計画を策定し、生物多様性の維持・再生に向けた具体的な取り組みを進めるとともに、持続的な保全活動の基盤づくりを目指すものです。



黒笹町小持松地内での現地調査

塚本
直樹

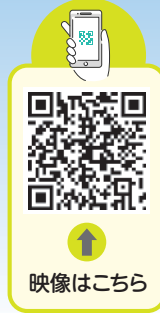
(新世紀の会)



映像はこちら

寺本
弘子

(希望の風)



映像はこちら

防災対策

Q 防災訓練の実施日と訓練内容を変更する理由は。

A 「防災の日」の9月1日直前の土日に実施していましたが、暑熱対策で11月28日に変更し、訓練内容は小・中学校4校で避難所開設訓練を同時実施する計画です。

Q 土砂災害警戒区域などの指定箇所の数、対策工事の進捗状況は。警戒区域などの住民に対する注意喚起は。

A 現在市内には42カ所の土砂災害警戒区域などがあります。対策工事は明知町砲録山地区で完了し、福谷町市場地区では継続して実施しています。警戒区域などにお住まいの方には、防災メール配信やハザードマップを利用した周知を図っています。

Q 二級河川境川において、過去に浸水被害のあった福田・西一色地区の浸水対策の進捗状況は。

A 福田第2雨水ポンプ場が完成し、平成30年から供用開始しています。西一色地内は水路改築と調整池を整備し、その後に福田南部の浸水対策に取り掛かる計画です。

第20回アジア競技大会の開催に向けて

Q 令和8年9月に実施されるアジア大会開催に伴う三好公園の利用規制は。大会への観客増の取り組みは。

A 競技開催期間中は、三好公園の運動施設・芝生広場・駐車場をはじめ三好池外周道路などについても利用規制が行われます。観客増の取り組みとしては、市民への無料チケット1,400枚の配布、市内小学3年生・中学2年生の無料観戦を計画しています。



4月に実施したアジア大会のテストイベント

朝の「小1の壁」の解消に向けて

Q 平日の朝のこどもの居場所について、次年度小学校に入学する年代のこどもたちで早朝保育を利用する保護者や放課後児童クラブを利用する保護者などにニーズ調査を実施する考えは。また実施時期はいつか。

A ニーズ調査は、令和8年7月から8月に実施予定の放課後児童クラブのアンケートで、早朝利用のニーズやその状況を把握するための設問を追加し、調査していきます。また、次年度入学予定の家庭にも、こども未来部と連携し、市内の保育園や幼稚園、こども園に通園している児童の保護者を対象に、放課後児童クラブと同時期にアンケート調査を実施する予定です。

Q ニーズ調査の結果により、今後「朝のこどもの居場所づくり」のモデル事業を実施する考えは。

A 今後、先進自治体の実情把握や運営上の課題、運営方法などの情報収集を行いながら、アンケート調査の結果で早朝における児童の居場所の確保が本市にとって喫緊の課題であると示された場合には、地域の協力体制や市の見守り体制の整備を早急に検討し、こどもの育ちと安全を両立できる支援方法を探っていきます。

「みよし市育エールカンパニー」の推進

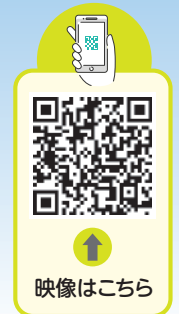
Q 育エールカンパニー認定事業者を増やすための取り組みは。

A 子育てと仕事の両立、職場での女性活躍推進など、働きやすい職場環境づくりを進めることで、育児を原因とする離職を防ぎ、優秀な人材の流出を防ぐこと、ワークライフバランスの充実による育児ストレスの軽減と仕事に対する意欲向上、企業イメージのアップによる採用力の向上など、さまざまな効果につながると考えていますので、認定を受けることによる事業者側のメリットをしっかりと伝えていきます。

渡邊 郁夫
(市民フォーラム)



伊地田 妙子
(公明党)



補助金制度の効果検証と見直し

Q 補助制度の見直しをどのような考えで進めるのか。

A 「令和8年度補助金等の見直しに関する基本方針」において、公益性を原則としつつ、限られた財源をより効果的に活用するため、必要性、有効性、公平性、透明性の視点も加え、令和9年度施行に向け見直しを進めています。

Q 補助件数などのアウトプット指標とCO₂削減量などのアウトカム指標との関係をどのように整理し、政策評価に反映しているのか。

A アウトプット指標とアウトカム指標を業績評価指標であるKPIとして位置づけた上で、PDCAサイクルに基づく管理を実施し、各補助事業の進捗状況を定期的に評価し、見直しや改善などの検証を行うことでアウトプットとアウトカムの因果関係を検証しています。各事業について投じた予算に対するCO₂削減効果を定量的に把握することで政策評価に生かしていきます。

Q 日常生活の移動手段の電動化をどう進めるのか。

A 次世代自動車購入など費用補助や充電インフラ整備補助を実施しています。今後はごみ回収業務への燃料電池自動車の導入拡大を検討していて、より市民が安心して電動車を利用できる環境づくりを推進します。



Q EVバイク導入促進をどのように進めるのか。

A 国や県の動向、先進自治体の事例を踏まえ、今回の補助制度見直しの中で導入を目指し検討していきます。

Q 補助率や補助上限額をどのように考えているのか。

A 国や県の補助内容や車両価格などを考慮し、市民が利用したいと思える効果的な制度設計を進めます。

女性のライフコースを通じた健康支援

Q 若い女性の「やせ」が健康へ及ぼす影響は。

A 月経異常や将来の不妊を招いたり、骨密度が十分に蓄えられず骨粗しょう症のリスクを高めたり、低出生体重児出産の危険因子となることから、本人の将来的な健康や次世代の健康にも大きな影響を及ぼします。

Q 更年期症状の把握と適切な対応を促すための簡略更年期指数(SMI)の活用は。

A 日本人女性の更年期症状の特徴に合わせて作られたセルフチェックリストで、ほてり、汗、頭痛、いらいら、不眠など代表的な10項目で更年期症状を点数化しています。本市においてもホームページなどに掲載し、セルフチェックができるようにしていきます。

Q 女性の健康課題への支援や就労継続の観点から、テクノロジーや製品を活用した支援「フェムテック・フェムケア」の活用は。

A 「フェムテック」は、デジタル技術などを活用して、月経管理アプリや更年期サポートアプリなど女性の健康課題



を解決するサービスや製品で、「フェムケア」は吸水ショーツや月経カップ、サプリメントなどデジタル技術に限らず女性の身体や健康に関する悩みに寄り添う商品などで、「フェムテック」や「フェムケア」に関する正しい理解を広める普及啓発を行っていきます。

Q エピテーゼとは何か、また補助の内容は。

A ウイッグや乳房補正具と同様のアピアランスケア用品の一つで、がん治療に伴う身体の欠損に対し、個々の皮膚の色や質感に合わせて医療用シリコンなどで制作される人工補正具です。主に、眼・耳・鼻・手指などの外見を自然な形に再現し、心理的な負担を軽減する役割を担います。補助は、補助率を購入費用の2分の1とし、補助金の上限は3万円としています。

水野

隆市

(無所属)

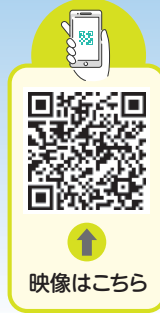


映像はこちら

奥村

祐右

(新世紀の会)



映像はこちら

熱中症から児童・生徒を守る小中学校の予防対策

Q 登下校時や部活動などに使用する冷却グッズが保管できる冷凍庫や冷蔵庫の設置についてどのようなか。

A 児童の暑熱負担を軽減し、安全な通学環境を確保するため、全小学校に33台の冷凍庫を配備するための予算を6月補正予算で計上しています。中学校については、自転車通学が認められていることに加え、部活動などにより下校時間が分散するなど、集団下校による暑い時間帯での小学校の下校と通学環境や学校運営の状況が大きく異なることから、現時点では、中学校への冷凍庫の設置は予定していません。



冷凍庫

難聴を含めた認知症の予防対策

Q 特に認知症と耳の聞こえが関連することについて、市民への周知はどのようなか。

A 「気づき」を促すことを第一歩として、令和8年度から保健師が、高齢者が活動している場所への出前教室で、難聴と認知症の関連性についての講話や、「会話をしているときに聞き返すことがよくある」など具体的な9つの質問項目により、耳の健康状態を確認する簡易チェックを今後実施していきます。後期高齢者健診の受診者へもヒアリングフレイルに関する内容や簡易チェック表を掲載したチラシを健診結果とともに配布し、耳の聞こえを早期に意識する機会とし、市民の認知症の予防につなげていきます。



注意：難聴は、心身の活力が衰える『ヒアリングフレイル』に移行しやすい。

みよし市のまちづくりの取り組み

Q 中日ドラゴンズファーム本拠地誘致について、本市のスケジュールなどの進め方や手法などは。

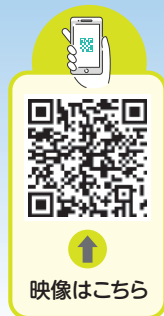
A 本市では、令和8年1月に庁内公募により所属を超えた横断的なプロジェクトチームを発足させ、過去に球場誘致を実施した自治体の先行事例の調査や具体的な誘致場所の検討を進めています。5月臨時議会にて中日ドラゴンズファーム本拠地誘致支援業務委託の補正予算を議決いただきました。5月27日には、移転先公募に係る募集要項が発表され、民間事業者が持つ誘致事業に関する専門的知見の早期活用に向け、民間事業者の一次審査を5月22日、二次審査を6月15日にプロポーザル方式で、契約事業者を選定しました。今後速やかに委託契約を締結し、公募条件の分析、市民機運の醸成、誘致戦略や事業スキームなどをプロジェクトチームと一体となって進めていきます。今後のスケジュールとしては、基本的な誘致構想を一次提案として7月17日までに提出し、より詳細な誘致案を二次提案として10月30日までに提出することになります。その上で、令和9年5月頃に移転先の優先交渉権者が決定される予定となっています。誘致活動を進めるに当たって本市が目指すのは、ファーム本拠地誘致だけではなく、本拠地を核としたまちづくりです。ファーム本拠地を核とした、周辺開発を同時に行うことで、交流人口・定住人口の増加や経済的価値を高めるとともに、スポーツを通じた市民の健康増進や子どもたちの教育資源の充実など、市民幸福度と社会的価値を高め、「みよしはこれからもっと良くなる」というワクワクするまちづくりを実現していきたいと考えています。



阿部
憲明
(公明党)



御国
しおん
(日本維新の会)



「自然共生サイト」登録に向けて

Q 「自然共生サイト」を登録するエリアの範囲と広さはどのような予定か。

A 自然共生サイトの登録想定エリアにつきましては、黒笹町小持松一帯の境川源流部における長田池から森林部分を含めた谷戸エリア、約10ヘクタール(100,000㎡)を予定しています。



みよし自然共生サイト
登録予定地の谷戸

Q 小持松の森林全体の保全整備の見通しは。

A 保全計画の策定を行い、自然共生サイト認定取得したその後に保全整備実施という段階を踏んで進める予定をしています。

深狭池2号湿地の価値の評価

Q 深狭池2号湿地の価値をどのように評価しているか。

A みよし市生物多様性戦略において三好丘緑地周辺の自然が残る地域として、本市の生物多様性保全上、重要な場所として位置づけられていて、土地利用誘導区域の中で、自然保全区域に指定し、保全を図ることとしています。

Q 「自然共生サイト」登録ができた際には、国の「認証」制度を利用する考えは。

A 企業支援に対する支援証明書や表示権の付与につきましては、有効な施策であると考えています。

「オーガニック給食」の取り組み

Q 学校給食へ減農薬で栽培した特別栽培米を積極的に取り入れるとのことだが、その内容は。

A 特別栽培米である「赤とんぼ米」を市内小中学校の学校給食として年3回の提供を予定しています。

性暴力から子どもを守る取り組み

Q 令和8年12月施行の「子ども性暴力防止法(日本版DBS)」における市の役割は。

A 市は、この法律の措置が義務化される学校や保育園などの設置者になるため、教職員や保育士、その他の職員などの「対象業務従事者」について犯罪事実確認や防止措置を講じる義務、性犯罪歴の有無を確認する体制づくり、職員が子どもに対し不適切な行為を行った疑いがある場合の調査・再発防止措置の整備、性暴力防止に関する研修の実施などを継続的に実施する必要があります。一方、事業者を監督支援する立場として、民間事業者への法律や制度内容の周知、また事業者が行う性犯罪歴確認などの相談や国による認定制度を利用する事業者への情報提供などの対応があります。

Q 学校設置者などにおいて、犯罪事実確認の対象となる従事者に対し、制度の説明や周知を行っているか。

A 法施行に向けて、対象範囲や運用方法などの制度確認を行っている段階のため、現段階では行っていません。運用方法を決定次第、対象従事者への周知や説明を丁寧に行っていきます。

Q 認可外保育施設、学習塾、スポーツクラブ、子ども食堂などの民間事業者に対して、日本版DBS制度の説明会や相談窓口を設置する考えは。

A 説明会の予定はありませんが、対象事業者には、制度内容や認定手続に対して、子ども政策課を窓口に対応していきます。認定が任意とされる民間事業者であっても、より多くの事業者に制度の目的を理解し、認定を取得できるよう働きかけていきます。

Q 民間事業者の認定取得のための伴走支援の考えは。

A 特に小規模事業者には、できる限りの制度内容の説明や相談支援、情報提供などを行っていきます。

鳥羽

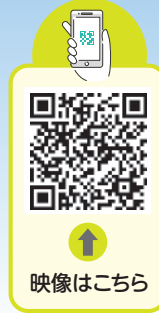
(新世紀の会)
富士夫



映像はこちら

原口

(希望の風)
百合子



映像はこちら

市議会議員選挙における電子投票導入

Q 過去の不具合事例と本市の分析結果は。

A ネットワークに接続しない方式に変更し、データの消失リスク対応として二重保存などを実施します。

Q 電子機器に不慣れな高齢者への対応は。

A 広報などによる周知とともに体験会などを開催し、当日はサポートスタッフを配置します。

高齢市民を対象にした住民集いの場

Q フレイル予防・孤立防止の観点から高齢住民が集える場の充実に関する本市の認識は。

A 拡充が必要と認識し、活動団体への補助などを通して通いの場の充実と活動を支援しています。

Q 老人憩いの家がない行政区は。

A 設置がないのは13行政区です。

Q 設置がない地域の課題は。

A 老人憩いの家は60歳以上なら誰でも無料で利用できます。その他の公共施設の活用も検討ください。

Q 新設が困難ならば、カリヨンハウスなど既存施設の一部を仕切って市民ラウンジ化する考えは。

A カリヨンハウスの既存施設は、現在有効活用されているので市民ラウンジ化する考えはありません。

児童遊園地管理の行政区負担

Q 児童遊園地管理に関する行政区との取り決めは。

A 取り決め事項はありません。地域に密着した公園として行政区に維持管理を依頼しています。市としても年2回の草刈りと4回の遊具点検を実施中です。

Q 維持管理状況の差に対する市の見解は。

A 児童遊園地ごとの差を認識しています。

Q 全ての公園の維持管理を市が実施すべきでは。

A 全ての公園を市で管理することは考えていません。従来どおり行政区での維持管理をお願いします。

さんさんバス

Q さんさんバスの通勤通学時間帯の遅延状況は。

A バスロケーションシステムで運行状況は把握可能ですが、正確な遅延状況の把握までは至っていません。

Q 遅延が常態化している停留所の時刻表を実態と合わせて変更する考えは。

A 時刻表改正の機会に状況調査を行い、アンケートなどで利用者の声を聞きながら反映させていきます。

Q 交通系にカードを利用できるようにする考えは。

A 令和2年度のキャッシュレス決済の導入検討の際、導入・維持管理費用が非常に高額になるため導入に至りませんでした。利便性は高いと考えていますが、費用対効果の観点から導入する考えはありません。



自転車の安全走行

Q 自転車が走行可能な歩道について、道路標識以外での周知活動は行っているか。

A 道路標識以外での周知活動は実施していません。今後は、交通安全の観点から、より効果的な周知方法について検討し、適切な対応を進めていきます。

Q 中学校の自転車通学推奨ルートについて、転倒事故の発生状況などを踏まえた見直しの考えは。

A 生徒に対し、交通規則や自転車の安全走行のための注意喚起や指導を行い、転倒事故の再発防止を継続して実施していくとともに、各学校と協議しながら、より安全な推奨ルートの選定を行っていきます。

議会運営委員会活動報告

議会運営委員会

委員長：塚本 直樹

議員任期の4年目（最終年度）にあたり、次のとおり活動目標を立てました。

【年度テーマ】

「議会活動の活性化」（前年度から継続）

【活動内容】

1 令和8年度中に協議・決定する項目

- （1）一般質問の実施方法
- （2）「議会報告会・市民との意見交換会」の実施方法の見直し
- （3）常任委員会の任期について、現在試行実施の2年制の評価と検討

2 その他、年度目標の達成のために協議する事項

常任委員会の数、予算決算委員会の実施方法について



令和8年4月の議会報告会の様子

行政視察先の選定と調査項目

早稲田大学デモクラシー創造研究所が実施している地域経営のための議会改革度調査2025のランキングで、中国地方で上位の自治体である広島県三次市と岡山県笠岡市の2市の行政調査を予定しています。両市は特色ある議会報告会の実施など、開かれた議会づくりを実践しています。（本市と三次市は、災害時における相互応援協定を締結しています。）

特別委員会活動報告

まちづくり特別委員会

委員長：奥村 祐右

【年度テーマ】

令和8年度の年度テーマを「市民がつくるまちづくりにおいて行政が果たす役割」（三好ヶ丘駅周辺開発に向けた規制や誘導を活かす計画的なまちづくり）に決定しました。

令和7年度のまちづくり特別委員会設置から2年目の活動として、より具体的に掘り下げた目標とするため、名鉄三好ヶ丘駅周辺開発について継続検討の申し送りがありました。

三好ヶ丘駅周辺は、計画的に整備された良好な住環境と豊かな自然環境を有する一方、今後の人口構成の変化、駅周辺の活力維持、交流人口の創出など、新たなまちづくりの課題があります。

今後、三好ヶ丘駅周辺の価値をさらに高めるためには、行政が行う「規制」と「誘導」の役割を整理し、民間活力を活用した持続可能な、まちづくりを検討する必要がありますため、本年度調査研究していきます。



三好ヶ丘駅周辺開発予定地

議会改革推進特別委員会

委員長：御国 しおん

【年度テーマ】

令和8年度の年度テーマを「多様な手法による住民意見の収集と議会反映の強化」に決定しました。

より多くの市民の皆さんの声を議会活動に反映させるため、住民意見の収集手法の充実を図っていきます。また、収集した住民意見を議会活動や政策提言につなげる仕組みについても研究し、市民の皆さんの声をより議会に反映できる体制の充実を目指します。

【活動内容】

1. 行政調査に向けた先進地の選定

年度テーマ「多様な手法による住民意見の収集と議会反映の強化」に向けて、視察先となる先進地として、三重県いなべ市と伊賀市を選定し、行政調査を行います。

2. 議会傍聴声かけ隊

6月定例会に向けて、6月4日(木)にイオン三好ショッピングセンターとメグリア三好店で「議会傍聴声かけ隊」を実施しました。「議会傍聴声かけ隊」は、令和6年度から行っている一般質問への傍聴を呼びかける活動です。一人でも多くの市民の皆さんに議会活動を知っていただき、議会と市政を身近に感じてもらえるよう、活動を続けていきます。



令和8年度議会報告会(4月25日)



議会傍聴声かけ隊(6月4日)



令和7年度政務活動費について報告します

政務活動費は、市議会議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として交付されています。

交付対象…会派又は会派に所属しない議員

交付額…会派又は会派に所属しない議員1人につき、年額180,000円

また、収支報告書及び領収書などはホームページ上でも公開しています。



令和7年度政務活動費会派別状況

		新世紀の会 (9名)	希望の風 (3名)	市民フォーラム (2名)	公明党 (2名)	日本共産党 (牧田充生)	日本維新の会 (御国しおん)	(無所属) 水野隆市	(無所属) 水谷正邦
収入	政務活動費	1,620,000円	540,000円	360,000円	360,000円	180,000円	180,000円	180,000円	180,000円
支出	調査研究費	172,320円	87,480円	133,632円	92,686円	64,435円	0円	59,416円	123,018円
	研修費	1,051,223円	426,492円	201,543円	148,552円	0円	116,856円	71,150円	28,000円
	要望・陳情活動費	258,430円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	会議費	0円	5,340円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	資料作成費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	資料購入費	44,960円	4,500円	10,148円	77,892円	116,600円	68,400円	123,330円	28,416円
	事務費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	支出合計	1,526,933円	523,812円	345,323円	319,130円	181,035円	185,256円	253,896円	179,434円
差引額 (内訳)	収入－支出	93,067円	16,188円	14,677円	40,870円	-1,035円	-5,256円	-73,896円	566円
	議員負担	96,142円	2,396円	0円	0円	1,035円	5,256円	73,896円	0円
	市へ戻入	189,209円	18,584円	14,677円	40,870円	0円	0円	0円	566円

政務活動費を充てることができる経費の範囲

項 目	項 目
調査研究費	市の事務と地方行財政に関する調査研究や調査委託に要する経費（調査委託費、交通費、宿泊費など）
研修費	研修会、講演会の実施に必要な経費や他団体が開催する研修会、講演会などへの参加に要する経費（会場費、機材借り上げ費、講師謝金、会費、交通費、宿泊費など）
要望・陳情活動費	要望・陳情活動を行うために必要な経費（印刷製本費、交通費、宿泊費など）
会議費	各種会議に要する経費（会場費、機材借り上げ費、印刷製本費、茶菓子代など）
資料作成費	議会審議に必要な資料を作成するために要する経費（印刷製本費、原稿料など）
資料購入費	調査研究のために必要な図書・資料などの購入に要する経費（書籍購入代、新聞雑誌購読料など）
事務費	会派などが行う調査研究に関する事務遂行に必要な経費（事務用品費、通信運搬費など）



みよし市議会報告会・市民との意見交換会を開催しました



「開かれた議会」を目指し、議会活動への関心と理解を深めていただくとともに、広く市民の皆さんのご意見を伺い、市政へ反映させることを目的に「みよし市議会報告会・市民との意見交換会」を4月25日(土)、市役所3階研修室で開催しました。当日は17人の方にご参加をいただき、第1部では「議会報告会」として、常任委員会ごとに年間テーマに沿った取り組み内容の報告を行い、第2部では「市民との意見交換会」として、第1部の報告内容に対する意見交換を中心に幅広い内容について意見交換を行いました。

内容については議会ホームページに掲載していますので、右のQRコードからご覧ください。いただいたご意見は今後の議会運営の参考とさせていただきます。



次回定例会のご案内

令和8年第3回定例会の予定は次のとおりです。

会 期	9月1日(火)～9月18日(金)
一般質問	9月3日(木)、9月4日(金)
議案質疑	9月8日(火)

※一般質問はひまわりネットワークでも生中継しています。

委員会

● 予算決算委員会	9月8日(火)
● 企画総務委員会・分科会	9月9日(水)
● 文教厚生委員会・分科会	9月10日(木)
● 経済建設委員会・分科会	9月11日(金)
● 予算決算委員会	9月16日(水)

議会を傍聴してみませんか？

- ・本会議場は7階
 - ・委員会会場は6階
- 傍聴を希望の方で手話通訳等の必要の方は7日前迄に事務局までお申し出下さい。

編集後記



7月から10月にかけて各委員会による先進地への行政調査を行います。今年度は令和7、8年度の2年目ということで、調査した結果を踏まえ本市のより良いまちづくりに繋がる政策提言ができるよう努めていきます。視察内容は今後の議会だよりで市民の皆さまにお伝えしていきます。



環境に優しい植物油インキを使用



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

〒470-0295 愛知県みよし市三好町小坂50
TEL(0561)32-2111(代) FAX(0561)34-4549
みよし市議会ホームページアドレス <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/>
(市ホームページから市議会の欄をクリックしてください。)
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。